

スカーフの着用でアクセント 柔らかさを印象づける

東京ヴェインクリニック

●東京都豊島区 / 診療科目：血管外科ほか

「医

療機関らしくない服装を、スタッフみんなが相談して決めました」と、話す東京ヴェインクリニックの近藤啓介院長。外来小手術などを手がける同院では、患者の緊張・不安感を少しでも和らげようと、ユニフォームにも工夫を施している。

その一つがスカートの着用。医療機関ではパンツスタイルが主流だが、「スカートのほうが柔

らかい雰囲気」と、受付も看護師もすべてスカートを採用して

いる。もう一つはスカーフの活用。淡い水色のスカーフを受付スタッフは首元に巻き、看護師はリボンのように結んで胸元に着ける。色や服装にアクセントをつけた「ちょっとしたおしゃれ」は患者からも好評だ。「水色は静脈の色。スカーフは血管外科をメインとする当院のシンボルでもあるのです」(近藤院長)



「同院のユニフォームは、ナースウェアをはじめ基本的に白。スカーフの淡い水色がより映える